

議会だより

2014.4.22

No. 161

山梨県昭和田議会
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ

はいっ
チ〜ズ!

まさかの大雪！町内パニックへ ②

平成26年度一般会計 69億1000万円 ⑥

一般質問 ここが聞きたい ⑭

議会モニター2年間を振り返る ⑳

地域住民と議員の対話集会 井戸端会議 ㉒

一押原小学校一

町内パニックへ

積雪114cm



町の被害状況

車庫（カーポート） 120件

ハウス 28件

軒下、テラス 25件

（H26.3.28現在 各区報告）

産業土木常任委員会で現場調査



紙漕阿原地内



農業や車庫等への被害にあわれた方々
対しまして心よりお見舞い申し上げます

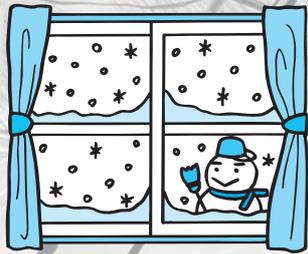
まさかの大雪！

観測史上初！

町へ進言

- ・ 農業被害等への対策、支援を！
- ・ 除雪作業対策の見直しを！
- ・ 自助・共助の考え方の啓発を！
- ・ 防災計画へ雪害対策を！

計13項目について町へ意見書を提出しました。



議会としての対応

昭和町議会災害対策本部 設置要綱の見直し

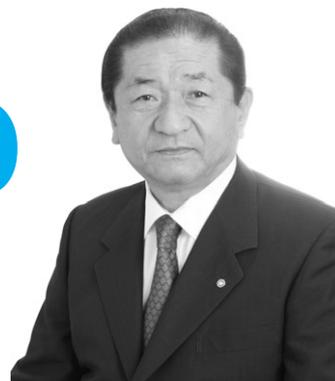
議会としても反省を踏まえ対策を検討し、体制づくりの強化に努めます。



3月議会

総務常任委員会で議会としての対応を協議

環境！ソフト面施策の 営に取り組みます



3つの基本柱

1 管理栄養士の採用

乳幼児から高齢者まで「食」を通じた諸施策を展開し、高齢者の見守り機能の強化など、町民の生活を食育の面から充実を図ります。



2 甲府市との人事交流事業

都市計画などに精通した職員を受け入れ、土地利用のあり方など、リニアを活用した総合的なまちづくりの方向性を検討します。



3 収納課の設置

税等の収納事務を一元管理するとともに、滞納への対応など、効率的な収納体制を構築します。



教育！福祉！健康！ 充実を重点に町政運

6つの視点

安全安心

常永跨線橋、大鎌田跨線橋の耐震補強設計
災害時使用、特設公衆電話の各公会堂等へ設置
コンビニエンスストアと連携しAED設置

協働

男女共同参画、人と環境すっきり
しょうわ等、各種団体との連携・
支援の継続
企業懇談会の推進、商工会との連携強化

子育て

保育園ごとの特色ある保育を支援、保育料の軽減継続
各種健診や予防接種等の実施、子育て支援の継続
消費税率改正による学校給食材料費の増分は町で負担



園児による田植え体験

環境・基盤整備

総合会館に太陽光発電設備
人・農地プランに基づく農業後継者の確保、
不耕作地の解消
西条・昭和インター線、町道30号線の継続整備

教育

学力向上、英語教育、実践的防災教育の推進
「風土伝承館 杉浦醫院」の事業展開
文化協会会員等の交流や活動の周知啓発

福祉・健康

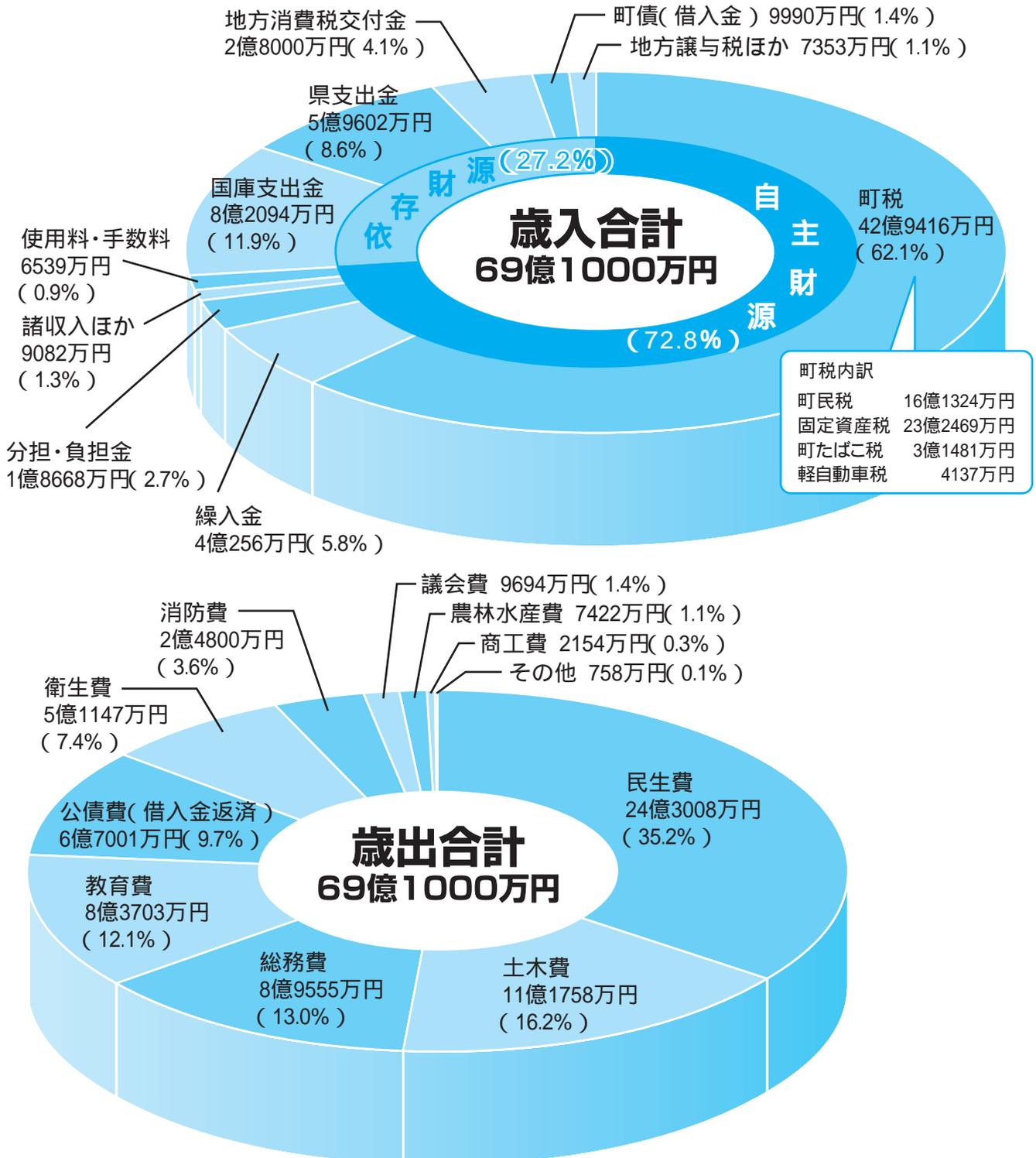
要支援者の把握、台帳整備、救急医療情報キットの配布
高齢者の見守りのあり方の構築
いきがいクラブ、ふれあいサロン等の活動支援



オープンした風土伝承館

用で食育強化

者まで健康管理



数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。

平成26年度
一般会計

探 養 栄 管 理 士 栄 養 管 理

乳幼児から高齢



栄養のバランスのとれた料理



健やかに！元気に！育てるために



野菜や果物もしっかりと

平成26年度一般会計・特別会計予算

会 計 名		平成26年度予算	平成25年度予算	前年度比	可否
一 般 会 計		69億1000万円	71億6900万円	3.6%	賛成13：反対1
特 別 会 計	国民健康保険	17億9500万円	17億9600万円	0.1%	賛成13：反対1
	後期高齢者医療	1億3100万円	1億2440万円	5.3%	賛成13：反対1
	介護保険	8億3354万円	7億6717万円	8.7%	全員賛成
	介護サービス	1539万円	1469万円	4.7%	全員賛成
	下水道事業	10億599万円	10億6868万円	5.9%	賛成13：反対1
	湧水対策事業	648万円	1122万円	42.2%	全員賛成
合 計		106億9740万円	109億5117万円	0.1%	

病欠1名
反対：深澤平助議員

一般会計
の
主な事業

・ 保育所運営費	5億9600万円
・ 児童手当	3億9048万円
・ 自立支援給付費	1億9994万円
・ 中巨摩地区広域事務組合負担金	1億5487万円

雪害対策に補助

除雪費とハウス撤去費用等に837万円

一般会計 全員賛成で可決

年度末を控えた予算編成で多くの費目が減額となる中、歳入では個人町民税現年課税分と固定資産税現年課税分及び滞納繰越分の増額を見込んでいます。歳出では主に介護保険特別会計繰出金1873万円を増額し、常永地区多目的広場用地購入費の減額、下水道事業特別会計繰出金等を減額。また事業執行後の不用額を併せ4899万円を基金に積み立てるものです。

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険会計	2151万円(総額：17億8323万円)
後期高齢者医療会計	163万円(総額：1億2603万円)
介護保険会計	4004万円(総額：8億1841万円)
介護サービス会計	14万円(総額：1449万円)
下水道事業会計	2119万円(総額：9億9174万円)
湧水対策事業会計	77万円(総額：1045万円)



除雪が進む西条地内

3月議会で決まったこと

平成26年3月定例会は、3月4日から19日までの16日間の会期で開きました。町長から提出された平成26年度一般会計および特別会計予算7案件のほか、25年度の補正予算7案件、条例の制定・改正9案件、また追加案件3件の計26件を審議しました。

一般質問には5人の議員が9件について活発な質問・意見を展開し、町長の考えを問いただしました。

専決処分

- ・指定管理者の指定
昭和三押原公園の管理者として、社団法人山梨県サツカー協会を指定するもの。

- ・平成25年度昭和三一般会計補正予算（第6号）

2月の大雪による除雪関係費や農業被害等への支援費として837万2千円を増額補正するもの。

条例制定

- ・昭和三町風土伝承館杉浦醫院の設置及び管理運営等に関する条例制定
杉浦醫院の管理運営に伴い、事業内容や観覧料等の必要事項を条例化するもの。

条例改正

- ・昭和三町課設置条例中改正
課に「収納課」を追記する。また「区画整理課」をなくし、土地区画整理事業を都市整備課内に係として設けるといふもの。

- ・昭和三町職員定数条例中改正
職員定数106名から109名にするもの。
（平成30年までに随時増員する）

追記するもの

- ・昭和三町職員給与条例中改正
大規模災害からの復興に関する法律の規定に基づき、町に派遣された職員にも災害派遣手当を支給するといふもの。

- ・昭和三町土地開発基金条例中改正
基金額の1億5、325万7、000円を2億円以内と変更するもの。

- ・昭和三町社会教育委員条例中改正
条文中「委嘱の基準」を追記するもの。

- ・昭和三町ひとり親家庭医療費助成金の支給に関する条例中改正
県ひとり親家庭医療費助成事業費補助金交付要綱の改定に伴う条例改正。
以上、全員賛成で可決

追記するもの

- ・昭和三町ひとり親家庭医療費助成金の支給に関する条例中改正
県ひとり親家庭医療費助成事業費補助金交付要綱の改定に伴う条例改正。
以上、全員賛成で可決



新たに設置された収納課

人事

- ・昭和三町教育委員会委員の任命



佐野 勝彦 氏
飯喰区

- （任期は前向山教育長の在任期間、平成28年9月30日まで）

- ・人権擁護委員の法務大臣への推薦の同意



鮎川 寛子 氏
西条新田区（任期3年）

討論

- ・昭和三町重度心身障害者医療費助成金の支給に関する条例中改正
支給方法が窓口無料方式から自動還付方式に変更されることに伴う条例改正。
（平成26年11月1日診療分より開始）
- ・昭和三町下水道使用料等徴収条例中改正
消費税が5%から8%に変更されることに伴う条例改正。 討論あり
賛成13、反対1（深澤議員）

反対討論

- 深澤平助議員
国は社会保障の安定財源確保に充てるとしているが、国費分は極めて少なく、認めることはできない。

賛成討論

- 野中敏美議員
税収の安定や社会保障財源にふさわしく賛成する。

教育厚生常任委員会

総合会館温泉施設 をかけ流しに

田中議員 総合会館の温泉施設をかけ流しに転換する方針は。

福祉課長 初期費用から維持管理費等の試算は行つたが、財政状況や工期等、総合的に検討し見送つた。現体制で管理徹底に努めたい。

深澤(平)議員 保険給付費の変動で予算を補正増する可能性がある。現段階で補正減する必要はあるのか。

町民窓口課長 今回は退職者医療分、また葬祭費の補正のため問題はない。一般被保険者療養給付費の増加が見込まれるため、補正増が必要になる。深澤(平)議員 予防接種委託費の減額が多いのは、いきいき健康課長 子宮

頸がん予防接種の執行中断に対する減額。河住議員 介護支援費扶助費が増額したのは、いきいき健康課長 介護認定者が増え、介護用品購入等に対する補助が増えたため。

三井議員 押小教育振興費補助金の劇団招へいの減額理由は、学校教育課長 音楽鑑賞の不用額。

町民参加のイベントの周知を

三井議員 12月に開催されたプロ団体の演奏会が大変好評だった。町民も参加できるようなイベントは知らせしてほしい。学校教育課長 今後は周知していく。

深澤(平)議員 図書館敷地内トイレの補修工事費は。

生涯学習課長 約25万円、25年度予算で対応し、すでに使用可能。



総合体育館にて演奏

産業土木常任委員会

下水道使用料の 徴収率は

河住議員 当初見込であった下水道使用料徴収率99%は達成できそうか。下水道課長 今のところ98%だが達成できると思う。

福島議員 地区計画変更委託料が全額補正減だが、都市整備課長 区画整理地内の地区計画変更と同時に委託できたため不用となった。

福島議員 商工費の小口緊急資金保証料補助を、もつとPRしてはどうか。環境経済課長 商工会と協議していく。

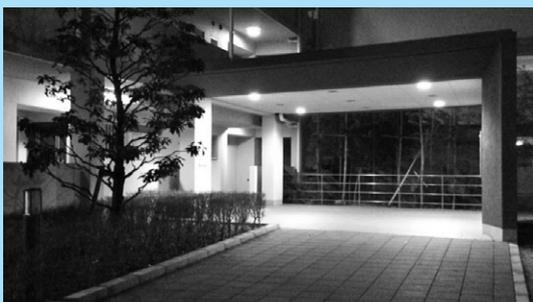
消費税増で 高熱水費は

河住議員 町営住宅管理光熱水費が昨年度に比べ低い。消費税増に伴い、

上がらないのか。

建設課長 公共施設の電力供給の切り替えて、電気料削減を見込んだもの。中澤議員 受益者負担金を市街化区域と市街化調整区域と分けて賦課するなど、考慮してもらいたい。

下水道課長 両区域は整備方針を考えており、賦課についても考慮している。



町営住宅のエントランス

総務常任委員会

起債償還のピークは

石原議員 26年度新設の収納課が徴収するのは、税のみか。使用料等はどうか。
 税務課長 当面、町税、国民健康保険税のみ。使用料等は他市町の状況参考に検討。
 石原議員 起債のピークは。企画財政課長 26年度がピーク。27年度から下がる。
 田中議員 人件費比率より、町は他市町に比べ職員業務負担が多い。臨時、嘱託職員も含め、基準等の見直しを。
 総務課長 処遇改善を検討していく。
 河住議員 入札の落札率が約94%だが、下げる方法は。総務課長 予定価格を公表している。入札方法を検討する中、厳正に執行していきたい。

その他

2月の雪害に対し議論

今後、課題や反省等を踏まえ「議会災害対策本部設置要綱」に雪害にかかる事項を追記し、改正することを結論づけた。



大雪によるハウスの倒壊（紙漣阿原区）

水源対策特別委員会

- ・ 甲府市上下水道局送水量
 - ・ 水準点（）測量結果
 - ・ 地下水水位測定値
- 以上が報告された。

その他

地下水利用目的の管理を

福島議員 地下水採取の届け出に関し、利用目的通りに使われているか調べているのか。また営利目的等で採取する場合は、何か規制が必要では。
 環境経済課長 県内市町村の状況を調査し、利用目的をしっかりと管理していく。

用語解説

水準点とは

高さの基準点として、その標高が直接水準測量によって定められた点。水準点は地形図の作成や、土木測量に必要な高さの基準点としての役割を果たす。



水準点（飯喰区）

地方分権対策特別委員会

若手職員による アイデア提言

「フォローアップ研修」

趣旨

町のひとづくりまちづくり研修のひとりで若手職員を育成するもの。若手職員はアイデア等を研究し、「企画力」「チーム力」「プレゼン力」を養い、仕事に活かせる手法を学ぶ。

各提案に対し、活発な意見交換を行いました。

提案

町のスポーツ団体や社会活動団体の部員数を増やそう！

環境づくりを

河田議員 町HPに団体ごとの情報を掲載し、発信するのも良いのでは。また自分で活動している団体が、町に登録できるような環境づくりもPRしてみても職員 すでに町HP上に掲載している団体はあるが、さらに情

報のネットワークを強化していきたい。

実現化に期待

長谷川議員 団体の一覧を配布（提

示）する時期も考え、研究すれば実現化に期待できるのでは。

塚原議員 課の窓口を設置するだけでなく、転入者には積極的に声掛け、案内してもらいたい。

提案

昭和町のゆるキャラをつくらう！

プロジェクトチーム を設置

田中議員 キャラクターを決める審査委員にはどのような人材を考えているのか。

職員 各年代の方々の意見交換会開催後、プロジェクトチームを設置。具体的な人材はまだ考えていない。



拍手喝采に包まれた会場

素晴らしい提案

石原議員 キャラクターのぬいぐるみ化が課題だが、町のシンボル「源氏ポタル」をゆるキャラとして作成してほしい。

福島議員 「昭和町と言えば源氏ポタル！」ということも強くPRしてほしい。

中澤議員 町の特産物等にこだわらず、昭和町をイメージできるようなキャラクターを作りたい。

提案

地域コミュニティを活性化させよう！（組の加入率に着目）

各地区に共通する タイムリーな課題

河住議員 地域づくりのために地区情報をHP等で発信し、組への加入促進につなげてほしい。中澤議員 既存の組への加入促進も重要だが、新しく組作りができる環境づくりも大切になってくると思う。

三井議員 町HP上「区からのお知らせ」を活用し、地域の行事や情報を充実させれば、より成果がでるのでは。



発表する若手職員



広報を通して議会を知る

広報特別委員会視察受入

愛知県東浦町議会 1月23日

一期生議員で
広報作りを務める！



静岡県裾野市議会 1月29日

“議場のあれこれ”を特記し
市民へ議会を伝えている！



群馬県中之条町議会 2月12日

議会クイズの応募に伴う
かわいいイラストを掲載！



安全！安心！美味しい！学校給食

～教育厚生常任委員会が町給食センターで試食 1月24日～



学校では毎日給食放送を行っています。そこでは献立の食材について説明をしているそうです。この食べ物がどんな場所でどんなふうになられているのか、昔はこんなふうに使われていたのだとか、その背景にある歴史も加えながら説明をしています。これも一つの食育ですね。



3月議会の前に勉強会！

～総務常任委員会主催 当局による説明会 2月20日～

3月議会に向け、議員全員で新年度(平成26年度)予算編成の方針や概略について説明を受けました。



ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 臨時職員の処遇改善は

A 働きやすい

職場づくりに努める



たなか ひろよし 田中 博愛 議員

田中 臨時職員は現在約90人だが、職員に準ずる行政サービスを日々の業務としている。しかし、臨時職員給与総額は正規職員給与の21%ほどだ。
今後、経験年数等を考慮し、職員と等しく働きがいのある処遇改善をすべきでは。

町長

基本的に臨時職員半年、嘱託職員1年の任用で引き続き業務を行う場合、希望により更新を行っている。正職員が給与を減額する際も、



認知症サポーター養成講座

Q 高齢者福祉の充実

A 在宅支援と地域介護力向上を図る

臨時嘱託職員は据え置くななど町では臨時嘱託職員にとつて働き甲斐のある職場となるよう配慮している。今後も働きやすい職場づくりに努める。

田中

2025年に全ての団塊世代が75歳以上となり、人口に占める65歳以

町長

現在、地域包括ケアシステム構築にむけた「地域ケア会議」を定期的開催し、多様化する課題やニーズ・地域からの苦情等に必要なサービス構築を協議し、制度化・対応に努力している。また最近の課題としてゴミ屋敷や、ひきこもり・精神疾患のケース対応も検討し、実施している。増員した保健師に計画的なケアマネージャーの資格取得を促すなど、約100人という少ない職員数の中で、今後も効果的な人員配置と効率の良い行政運営を行う。そして関係各課・各係の連携で、在宅介護の支援と地域介護力の向上を図っていききたい。

上の高齢化率は、25〜30%以上と予測されている。今後、高齢化率が進むと介護者の心の負担は大きく、頼る相談相手として介護支援専門員（ケアマネージャー）の割合が高くなり、最も重要となってくる。増員対策を含め、高齢者福祉（地域包括ケアシステム）に、どのように取り組んでいくのか。

施策を問う

一般質問



いしはら たかあき
石原 高明 議員

Q ホタルと公園の 一体的活用は

A 愛護会活動を 継続支援し、検討

石原 ホタルをテーマとする源氏ボタル発生地公園は、町の自然や歴史を物語る特色のある公園。また鎌田川河川公園や押原公園の中に作られた、ホタルを育成飼育するピオトープ、湧水の里沼公園もホタルに関連した公園だ。

ホタル復活・保護活動の支援強化と、源氏ボタル発生地公園から鎌田川河川公園までの、一体的な活用や、ホタルのゆるキャラなど町民からアイデアを募り、マスコットを売り出す考えはないか。

町長 源氏ボタルは町のシンボルで、小・中学校の校章や下マンホールのデザインとして活用されている。昭和63年5月に「昭和町源氏ホタル愛護会」が発足し、今日まで活動を続け、飼育した幼虫を杉浦醫院、紙漉阿原沼公園等に放流し、押原公園では「ホタル夜会」を開催するまでになっている。

大切なのは「源氏ボタル」の灯を絶やさず、町民や子ども



ホタル幼虫放流(押原公園)

もたちに伝えていくことだと思ふ。引き続き愛護会活動の支援を継続していく。マスコット等については、図書館マスコット「ひかりちゃん」、HPキャラクター「ほたるん」他、今後さらに検討していく。

Q 押原公園の 多目的利用は 経費を考慮し 検討する

石原 天然芝・人工芝グラウンドや会議室利用者

数は25年11月まで7、538団体、南北ゾーンや多目的広場・親水公園など、20万人を超える。しかし防災備蓄倉庫の外壁が壊されるなど、各箇所の修繕対応もふえている。そこで南ゾーンにマナー教育という間接的な効果も視野に入れた、壁の設置を提案するが、町の考えは。

町長 確かに、押原公園内の附属施設の壁が破損するなど、一部利用者のマナー欠如による対処に苦慮している。

防御対策として壁の設置が考えられるが、低木を周辺に植栽し、ボールの跳ね返りを防ぐ方法で改善できないか検討する。多目的公園として多くの方が利用できるよう、費用を考慮し対策を講じていきたい。

Q 災害時の学校防災は

A 学校、地域、行政とが連携し体制構築



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

河住 東日本大震災から3年、都市直下型地震や東海・東南海・南海地震の備えも不十分だ。マニュアル通りの対応は問題ないか。避難訓練の問題点と内容は防災のため保護者や地域住民と連携する必要は。学校が避難所となる場合の

開設、運営方法は。児童の安全確認、引き渡し、安全確認の方法は。

町長

昨年4月に地域防災計画と学校防災計画も見直した。町民の生命・身体・財産を災害から保護する取り組みは、日常的に備えることが重要と考えている。

教育長

教職員は防災研修や児童生徒への防災教育を実施し、想定される災害にできるだけ対応

する体制になっている。以前、告知せずに清掃時間に避難訓練を実施した際、教室へ戻ってしまい、自分たちの行動がうまくいかないなどの課題があるが、解消に向け努力していきたい。

保護者との連携は、大規模地震発生時対応を毎年、基本対応として連絡している。地域住民との連携は現計画の中にないが、現行の防災マニュアルのチェック・助言、さらに学校と地域との連携体制



常永小学校防災訓練

Q 環境家計簿の配布を

A 県の環境家計簿を推奨

河住 電気・ガスなど、エネルギー消費量やゴミの排出量から、二酸化炭素の排出量を簡単に計算できる環境家計簿を、全世帯に配布する考えはないか。

町長

すでに県が毎年実施しており、各市町村が窓口となり希望者への環境家計簿の配布とその回収を依頼されている。町独自に、我が家の環境家計簿を作成した場合は、経費の削減ができる点や、県の環境家計簿の完成度が高いという点から今後も県の事業に協力していきたい。

Q 社会全体で障害者支援を

A 町のイベントを通じ 意識啓発に努める



かわた
河田あけみ 議員

河田 高齢者や障害者、難病患者や妊婦、乳幼児や外国人などの災害要援護者は、災害や事故などつさの対処が困難で、きめ細かな強化を図る必要がある。町としても不測の事態に助けを求めたいとき、周囲の人の気づきや支援しやすい環境を整えるべきだ。さまざまな障害を持つ方にすぐに支援の手を差し伸べられるよう、ヘルプカードの普及や支援者のガイドラインを作成し普及啓発するなど、実効的対策を早急に講ずるべきだ。町の考えは

町長

障害者をはじめ災害時要援護者は、非常

時に健常者以上のきめ細かな支援体制が必要で、行政や地区・組単位の身近な地域支援行動が求められている。コミュニケーションに障害があり、自ら「困った」と伝えられない人には、連絡先や障害の特性、支援方法が記載された「ヘルプカード」を普段から身につけておくことは、緊急時や日常的に周囲の配慮や手助けをお願いしやすいなど、安心に繋がる。

全県的な統一様式が望ましいため、県に働きかけを行い、町の障害者団体とも協議し、昭和町版「ヘルプカード」を希望者に渡せるよう検討する。また、障害者への理解を一層深めていただくため、町や社会福祉協議会のイベントを通じて、町民への働きかけの強化意識啓発に努めていきたい。

再質問

河田

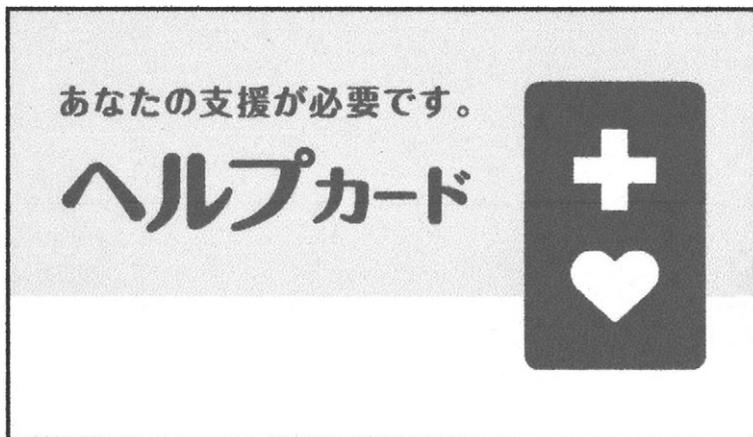
2月に記録的な大雪が降ったが、今後障害者や災害要援護者等に対して、どのような支援や対策を考えているか。

福祉課長

今回の経験を活かし、民生

委員には受け持ちの高齢者世帯や、一人暮らし世帯の方の体調や安否確認など、きめ細かな対応を要請する。

また、日頃から身近な相談相手、そして地域福祉の要としての支援活動をお願いしていく。



東京都で使われているヘルプカード

Q 介護保険の改悪は

A 介護支援サービスの継続に努める



深澤 平助 議員

深澤 介護保険要支援1・2の人を保険からはずし、市町村に対応をゆだねる改悪案が国会に上程されている。厚労省は国会での改正案の議論の前に、介護保険サービス利用に必要な介護認定を受けられないこと、軽度者向けの住宅サービス利用限度額を、最低水準の要支援よりさ

らに引き下げようとしている。町の考えは。

町長

介護保険改悪との指摘だが、町としてそのような対応を行うつもりはない。今回の改正は、介護保険料基準額も次期計画では5,000円を超えることが見込まれ、二号被保険者（40歳〜64歳）の保険料も平成26年度は月5,237円の見込みと報告されている。

継続可能な制度として保険料を抑えることも必要で、自ら介護予防を意識することや、自立支援の制度という本来の保険の制度を考え直す時期にきている。

当面は移行期と考え既存の介護支援サービスの継続や、併用による支援を検討し、サービスの引き下げにならないよう努めていく。



高齢者の運動教室

Q 消費税引き上げ 低所得者負担は

A 国の政策を注視し 地方の声伝える

深澤

4月から実施される消費税率8%引き上げに伴い、1人平均約17万5千円の負担となり、町民の負担額は約30億6千万円と町の税収の3分の2に相当する。

消費税実施から25年だが、消費税のほとんどが法人減税の穴埋めにされている。消費税引き上げを行うべきでないが、町の考えは。

町長

低所得者の負担増を和らげるため、臨時福祉給付金の支給準備を進めている。国が消費税を8%に上げた目的をしっかりと達成できるように、国の政策の進捗状況を注視する。国の社会保障政策が消費税アップの目的を逸脱するような場合には、町村会を通じて国へ地方の声を伝えていく。

追跡



あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。

追跡① 救急医療情報キットの配布を

平成23年6月議会 質問者：河田あけみ議員

問 災害時や緊急時には本人の病歴や服用している薬などの情報を的確に知り、敏速な処理が望まれる。要支援者等へ「救急医療情報キット」を配布し安全対策を図るべきでは。

答 障害者、病弱者等も視野に入れ、

その後

平成26年度より予算計上。



情報キットセット



追跡② コンビニにAED設置を

平成25年6月議会 質問者：深澤 克男議員

問 24時間営業しているコンビニ等と協定を結ぶなど、設置を考えないか。

答 設置協定を前向きに検討し、多くの場所に設置したい。

その後

平成26年度、予算計上。



追跡③ 高齢者火災警報器設置 助成実施要綱の見直しを

平成25年12月議会 質問者：石原高明議員

問 火災警報器の設置及び申請の代行が可能となるよう制度の見直しをすべきでは。

答 要綱の見直し等を含め、助成対象未設置世帯に考慮する。

その後

要綱を改正し、自ら警報器の設置および申請が困難な場合、事業者にて代理で行わせることができるものとした。



間を振り返る

平成26年3月28日に議会代表と議会モニターとの意見交換会を開きました。2年を振り返った感想や意見、また今後の課題等について話しました。



植竹由美さん

議会モニターは直接議会へ意見を伝えられるのが魅力。議会傍聴では女性議員の質問に注視していた。同性としてとても興味深いものが多かった。女性議員をもっと増やし、女性目線から問題に追究していくのも良いと思った。



モニター傍聴



小林利雄さん

あっという間の2年。小さい町だからこそ、町民が議会へ参画できると思う。そして特徴ある町、身近に感じられる議会が創られていることを改めて感じた。



渡邊実千代さん

議会や委員会に何度か出席させていただき、何となく暮らしている中で、議員や町の職員の皆さまの力で支えられていることを学びました。積極的に意見することができませんでしたが、大変勉強させていただきました。

雪かきをするルートについて事前に重要な路線を決めてはどうか。雪を捨てる場所の確保も必要だ。重機や農業機械など、災害時に活躍できそうな機械と人を登録しては、

地域の方々の温かさを感じた。

ほとんどの方が大雪に対し、備えや危機管理が足りなかったとは思いますが、地域の方々に通学路を除雪するなど、共助の部分を強く感じた。

議会モニター2年

中澤正志さん

何回か傍聴したが、本会議より委員会の方がたくさん議論、討論されている様子が見れて、良い体験となった。議員さんと直接話す機会はなかなかないので、このような会合が持てたことは良かった。



笠島三枝子さん

初めは議会に対し興味がなかった。町を知る機会が増え、改めて町の良さを感じている。この良さをもっと多くの方にアピールしたい。



モニターとの座談会

塩澤政博さん

議会の傍聴にあまり参加できなかったこともあり、モニターとしての役割が果たせているのか、とまどいがあった。モニターになって議会に少しずつ関心が持てるようになった。



その他

恐ろしかった！アノ大雪！

過日の雪害に対し、モニターより意見をいただきました。

協力し合える地域コミュニティ作りが大切だと感じた。

いち早い情報提供(防災放送)が必要。

災害時にはどのような被害が想定されるのか、どのようにすれば回避できるのかなどの情報があると良い。



井戸端会議

地域住民と議員の対話集会

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

押越区(第10回)

1月18日 区公会堂

出席者 区民15名
産業土木常任委員会

遠藤辰男 河住保茂
三井 猛 福島正明

中澤康夫

萩原 馨議長

地元議員 深澤平助 石原高明

おもな意見・要望と議会の対応

Q 押原公園の北側が暗いが、何とかしてほしい。

A 街灯は太陽光、風力により発電している。貯めた容量は概ね8時間対応のため、容量不足で照度が足りなくなることもある。防災公園としても利用できるよう設備されているため、現状をご理解いただきたい。

Q 区内の荒廃している土地の活用、不耕作地の活用をどのようにしたらよいか。

A 荒廃農地の補助金制度を利用するの一手。また市街化調整区域内の開発については、地区計画を策定し、県から町へ開発権限移譲してもらうことを推奨していきたい。

西条一区(第11回)

2月21日 彩の広場管理棟

出席者 区民25名
教育厚生常任委員会

長合川幸廣 田中博愛
深澤平助 樋口敏夫

萩原 馨議長

地元議員 三井 猛

おもな意見・要望と議会の対応

Q 今回の雪害に対し、議会として対応をどう考えていたのか。町で災害対策本部を設置しなければ、議会も設置しないのはおかしい。議会としての体制を組んでほしかった。

A 当局と連絡をとり、各常任委員長へ地域での除雪対応や情報収集に務めるよう連絡した。「災害時議員行動マニュアル」に沿った行動だが、議会としての体制については、今後の検討課題としたい。

Q 大型ショッピングモール開店に伴う交通渋滞回避のため、脇道への車の流れも増えている。狭い道路や危険箇所も整備・開発をお願いしたい。

A 今後町内の通学路等も含め道路整備については、安全な体制が整うよう、町に働きかけていく。

河西区(第12回)

3月15日 区公会堂

出席者 区民25名
総務常任委員会

塚原将司 野中敏美
河田あけみ 林 和仁

石原高明

萩原 馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 区画整理地内に道路標識は設置されないのか。交通量が多く、通学路でもあるところは危険だ。

A 平成27年に区画整理事業完了予定。今後順次、整備されると思うが議会としても町に要望していく。

Q 2月の雪害で農業ハウスの倒壊など被害が出ている。町としての補助は出るのか。

A 除雪関係費や農業被害等への支援として、補助金を予算計上した。

Q 常永小学校では平成26年度の1年生が3クラスになる。これまでオープン教室の2クラスであったが、授業に支障が出ないか。仕切りなどの設備が必要では。

A 3クラスの整備がされているとのことだが、議会として状況確認する。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む皆様にご意見・ご感想を伺いました。



住みよいまち



河東中島区 神宮寺ゆかりさん

私の家族は8年前、娘が小学校入学を機に主人の生まれ育ったこの町に引っ越ししてきました。

昭和町の印象は、子育てをするにはとても恵まれた環境が整っているということ。町が「子育てしやすい日本の町」を目標に掲げているように、教育・子育て支援などに力を入れているのが分かります。そして、それに助けられて子どもたちが無事に成長することができています。2人の子どもを育てながら、その子育て支援を受けさせていただき、さまざまな面で助けられました。子どもの通う学校の校舎はとても明るく開放的で、木目を基調とした温かみのある建物です。授業参観・運動会など学校を訪れたときに、この環境ならば情緒豊かに育つていくのではないかと感じています。

さらに、近くに押原公園ができたことにより、子どもはスポーツや遊びに活用させていただけます。また、防災公園として災害時にも、避難所としての蓄えがあるということ、安心感が持っています。今後は昭和町が「日本一住みよいまち」であるように願っています。

ホテルの住める環境を



紙漕阿原区 山本朗さん

昭和町はとても住みやすい街です。医療機関・教育施設・商業施設・幹線道路・高速インター等々、あらためて見まわしてみると、バランスのとれた良い街だと再認識します。

居を構えた16年前、共働きの我が家にとって、保育施設の献身的なバックアップと、町の子育て支援には非常に助けられました。「県内で一番子育てに適した町」と言われるゆえには、我々が一番実感しています。

特に私の住む阿原区は素晴らしく、「側溝の蓋を開ければ、その地域に住む人たちの人柄がわかる」というように、人々の助け合いの精神が側溝のきれいさに出ていました。そして、阿原区の諸先輩方は、われわれ若輩者の拙い意見にも真剣に耳を傾け、地域のみんなで子どもやお年寄りを守ろうとしています。また、毎年阿原区の協力を得て、子どもたちを連れ早川町へ出向き、キャンプと銘打ってテントの設営や炊き出しの練習なども、地域の特徴です。最後に「ホテルが帰ってくる街に」という昭和町の思いは、人々もさらに住み心地よく、子どもの健やかな未来にもつながると信じています。

～抱える問題を解決し 明るい未来へ～

山梨学院大学との勉強会

“福祉”(第7回)

“都市計画”(第8回)



12月17日 竹端 寛 准教授



1月20日 中井 道夫 教授

広報編集特別委員会 委員長 石原 高明 副委員長 林 和仁

委員 河田 あけみ 河住 保茂 三井 猛 深澤 克男

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

6月10日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842 (今澤・小林)



発行

山梨県昭和町議会 TEL.055-275-8842(直通) T.409-3880 TEL.055-275-2111(代)

山梨県中巨摩郡昭和町押越5-42-2 FAX.055-275-5250

